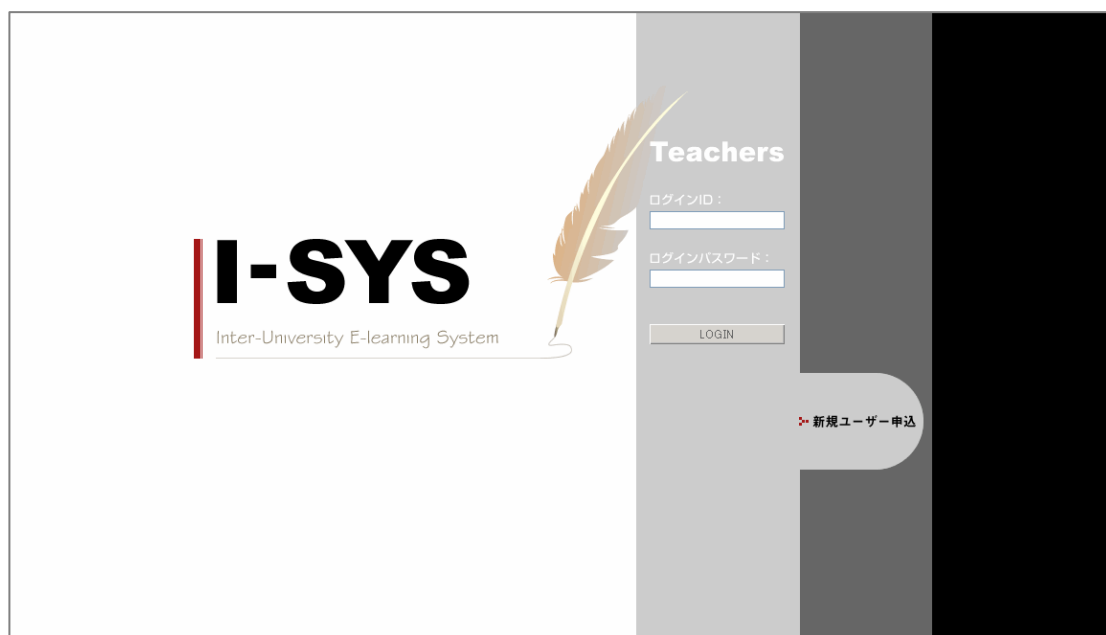


# 大学汎用学習システム I-SYS 概要



## I-SYSとは？

I-SYSは、岡山理科大学の教授数十名からの意見を集約し、開発した、低価格ではじめられる、課題の出題・回収等に特化したE-learningシステムです。

I-SYSは、課題の出題、課題の一覧表示、解答の回収、解答提出状況一覧表示、ブログ、掲示板、アンケート等の機能を備えています。

このI-SYSの特長は、課題をテキスト形式で入力しやすい、課題を気軽に出题できる、集計結果を閲覧・二次利用しやすい等があります。

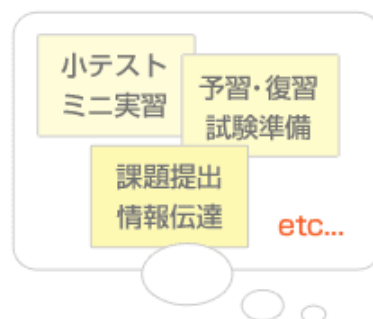


## I-SYSの利用例

岡山理科大学の具体的な利用例として、ある先生は、小テスト・ミニ実習・課題提出で利用しています。講義に関する各種教材、資料を講義日程に合わせてアップロードし、予習・復習・解答・試験準備に活用しています。

また別の先生は、クラスへの伝達手段として利用しており、授業で言い忘れたことや言い間違えたことを全員に連絡しています。また、授業終了前に用紙にプリントした課題を配布し、学生に次の授業までにI-SYSで解答させ、チェックし、コメントを返しています。

またある先生は、授業ごとに掲示板を作り、学生同士で議論をさせています。I-SYSを利用することで、学生に課題を出題してから回収するまでの手間が省け、回収した解答を簡単に保存・二次利用できるようになります。また、授業のエビデンスを電子媒体でしっかり残すことができます。



## 最高の安全性

通常のインターネット内でのやりとりは、誰からでも見ることができ、裸状態のデータと言えます。そこで、I-SYSのすべての通信は、SSL(Secure Sockets Layer)を利用しています。

入力されたデータはすべて、ブラウザ上で暗号化処理された後、インターネットを經由して当社のセキュア・サーバーに転送されますので、転送の途中で第三者に盗聴される心配はありません。

SSLは現在、インターネット上でもっとも信頼性が高い技術で、個人情報扱うサイトで標準的に使用されています。

## ウイルスチェック機能も完備

添付ファイルでの課題提出を許可している場合、学生のパソコンがウイルスに感染しているとそこからウイルスが広がってしまいます。

I-SYSでは添付ファイルをアップロードするときには必ずウイルスチェックが行われます。

ウイルスに感染したファイルがアップロードされると、そのファイルは自動的に削除されますので、格納されている他のファイルへの感染を防ぎます。

## 安心のサーバー設置環境

I-SYSのサーバーは万全のセキュリティを備えたデータセンターに設置されています。24時間365日体制の監視システムで、深夜・休日のトラブルにも迅速に対応することができます。

# 大学汎用学習システム I-SYS 簡易操作マニュアル

## 先生側/課題の作成

I-SYSでは、学生への課題の出題・回収、コメント記入、提出物の保存・管理がWeb上で簡単にできます。

課題名、出題内容、提出開始・提出期限・最終締切、学生への書類添付、文字数集計単位、問題数等の設定を行い、学生へ課題を出すことができます。

初期表示時は、クラス名が設定されています。  
もちろん、編集は可能です。

以前に作って保存した課題を  
使うこともできます。

■情報1 新規登録

基本情報

保存した課題を参照

出題内容の説明として使用すると便利です。  
(未入力でも問題ありません)

課題の提出期間を設定できます。  
設定期間外は学生は提出できません。

学生からの解答の受付は  
添付ファイルでも可能です。

課題に文字数制限をかけることができるため、  
集計単位を決めます。  
問題数の設定ができます。

問題(小項目)

課題の記入枠の設定(高さ・横幅)は、画面に表示されるウィンドウの大きさを決めるもので、字数制限とは無関係です

タイトル	入力制限 文字数	高さ	横幅	フォント サイズ
	<input type="text"/>	<input type="text" value="5"/>	<input type="text" value="50"/>	<input type="text" value="標準"/>

登録確認

問題の設定は、文字数の制限をかけられます。



一度出題した課題を保存しておくと、次回その課題を保存先から選ぶだけで、同じ課題を出題することができます。同じ課題を何度も入力・設定する必要がありません。

## 学生側/課題の提出

学生は出題された課題を自分が属しているクラスごとに確認できます。  
出題された課題を開くと、それに対する解答がでできます。また、先生からコメントが返っていればそれを確認できます。

学生は自分が属しているクラスごとに、  
出題されている課題を確認できます。

課題の出題日、提出期限、  
自分の提出日が一目でわかります。

課題名	出題日	提出期限	提出日	
「情報1」課題2	06/11/09	06/11/15 18:00	06/11/10	表示
「情報1」課題1	06/11/09	06/11/15 18:00	06/11/10	表示

CLICK

課題提出	
課題名	「情報1」課題2
備考	
提出期限	2006/11/15 18:00
Q1 本日の授業についてのレポート(500字以内)	
提出します...	
文字数カウント	
制限文字数500文字	
教師からのコメント もう少し掘り下げてみてはどうでしょう。	
確認画面へ	

問題に文字数制限がある場合、  
自分が今何文字入力しているかカウントできます。

先生からのコメントがあれば、確認できます。



解答の提出は、画面によるテキスト入力のほかに、出題した先生が添付ファイルの許可をしていれば、添付ファイルを使った提出も可能です。

## 先生側/解答の回収

クラスごとに出題している課題名、出題日、提出期限、現在の提出人数を一覧で確認できます。また、課題ごとに誰がいつ提出しているのか確認でき、その解答をPDFもしくはテキスト形式で保存することができます。

出題している課題が一覧で表示されます。

出題した課題を出題日・提出期限、それぞれ昇順・降順でソートできます。

現在解答を何人出しているか一目で把握できます。

課題名	出題日	提出期限	提出人数	表示
「情報1」課題2	06/11/09	06/11/15 18:00	4	表示
「情報1」課題1	06/11/09	06/11/15 18:00	3	表示

CLICK

学生番号、解答の提出日、一度提出後加筆して提出した日など、それぞれ昇順・降順でソートできます。

提出者	学生番号	氏名	提出日	提出後更新	コメント	表示
00000001	岡山	花子	2006/11/10 10:05	-	-	表示
00000002	香川	洋子	-	-	-	-
00000003	日本	一	-	-	-	-
00000004	赤井	利	2006/11/10 10:06	-	-	表示
00000005	桃谷	瑠子	2006/11/10 14:14	-	-	表示
00000006	中本	浩二	2006/11/10 18:19	-	済み	表示
00000007	窪谷	翠佑	-	-	-	-
00000008	史村	健	-	-	-	-
00000009	加藤	智也	-	-	-	-
00000010	高橋	幸有	-	-	-	-

学生から提出された解答にコメントを返信できます。

クラスの学生が一覧で表示されるので、誰が解答を提出しているか、していないかがわかります。

学生から提出された解答をPDF、テキスト形式で保存できます。



- ・ 今まで出題した課題に対する各学生ごとの提出回数を確認できます。
- ・ 解答の提出者、未提出者もしくは全員に一斉メールを送ることができます。



## 先生側/教員のページ

先生それぞれご自分のブログ（日記）形式のサイトを開設することができます。管理画面の項目に沿って入力するだけで、簡単に記事や写真の掲載ができます。URLを学生に告知し、お気に入り登録をしてもらえば、ご自分のサイトとして活用いただけます。

The screenshot shows a web form for creating a blog post. The form is titled "その他" (Others) and includes the following fields and options:

- 掲載日付** (Posting Date): 2006年 11月 13日
- タイトル** (Title): [Empty text box]
- 画像** (Image): [Empty text box] with a "参照..." (Browse...) button. A callout points to this field: "画像付きの記事を書くことができます。" (You can write articles with images.)
- 内容** (Content): [Empty text area]
- ダウンロードファイル** (Download File): [Empty text box] with a "参照..." (Browse...) button. A callout points to this field: "ファイルをサイトに添付することができ、学生にダウンロードしてもらうことができます。" (You can attach files to the site and have students download them.)
- ダウンロードのリンク文** (Download Link Text): [Empty text box]
- NEWの付加** (Add NEW):  付ける  付けない. A callout points to this field: "新しい記事には「NEW」マークをつけることができます。" (You can add a "NEW" mark to new articles.)
- 表示区分** (Display Category):  表示  非表示
- レイアウトの選択** (Layout Selection): Three layout thumbnails are shown. A callout points to this section: "書き込んだ記事を表示・非表示と簡単に切り替えられます。" (You can easily switch between displaying and not displaying the article you wrote.)

A "書き込む" (Post) button is located at the bottom right of the form.



記事を書き込む際、写真の位置、コメントの位置を選択することができます。  
毎日簡単にブログを更新することができます。

## 掲示板

先生も学生も、クラスごともしくは課題ごとにスレッドの新規登録ができます。  
学生同士で議論してもらいたいことにスレッドをたて、自由に意見を述べさせることもできます。

スレッドの一覧が確認できます。

スレッドの登録日、そのスレッドに対する書き込み数を一目で把握できます。

■ 掲示			
プラスのスレッド			
	登録日	書き込み数	状態
テスト書き込み	2006/10/03	1	書込可
アジア経済と日本の役割について述べなさい	2006/10/03	5	書込可
課題のスレッド			
	登録日	書き込み数	状態
「経済1」中国経済について	2006/10/03	2	書込可
「経済1」世界経済について	2006/10/03	3	書込可

CLICK

書き込まれた記事は、PDF、テキスト形式で保存することができます。

■ 掲示板

テキスト形式ダウンロード PDF形式ダウンロード

題名: アジア経済と日本の役割について述べなさい

状態:  書き込み可能  書き込み禁止

スレッド修正 スレッド削除

全てのレスを完全表示する

- 名前: 日本次郎 [押尾学] 2006/10/03 (Tue) 19:49  
日本はアジアの中でどのような経済的立場を確立する必要があるのでしょうか？
- 名前: 田中五郎 [田中五郎] 2006/10/03 (Tue) 19:49   
現在の日本の経済的立場を中国が受け継ぎ、米国と対等の立場、東南アジアでの立場を確立しようとしています。
- 名前: 田中二郎 [田中二郎] 2006/10/03 (Tue) 19:50   
日本国民が考えるべきことは、日本が将来どのように国際社会の中で存在しうるかとゆうことだと思います。

スレッドは、書き込み可能・書き込み禁止をすぐに切り替えることができます。

学生は自分が書き込んだ記事しか削除できませんが、先生はすべての記事を削除することができます。



学生が仮名で書き込んだとしても、先生側から見る画面だけは、書き込んだ本人の名前がわかるようになっています。



# アンケート

授業中やその後に学生にアンケートを出すことができ、その集計をWeb上で確認できます。

## 【学生側のアンケート回答画面】

出題されているアンケートを一覧で確認することができます。



CLICK

アンケートは項目に沿って解答するだけです。



## 【先生側の集計画面】

- アンケートの集計結果をWeb上で確認できます。
- 出題したアンケートを保存しておき、次回流用することもできます。
- アンケートは、一行自由記入方式、複数行自由記入方式、単一選択方式、複数選択方式、リスト選択方式と設定することができます。

集計結果はグラフ表示されます。

どの学生がいつ回答したか確認できます。

クラス	経済2 水曜3限 通年
タイトル	アメリカ経済について
説明	アメリカの国内消費が加熱しかかって、たちどころにヒト、モノカネの補給ができる...
提出開始	2006年11月13日17:00分
提出期限	2006年11月20日17:00分
状態	集計中

■ アンケート結果 3人

Q1. アメリカ経済の復活を懸念するのは何か？

選択内容 合計 3件

- 金融
- 情報産業

Q2. 冷戦時代のアメリカ経済について、端的にまとめよ。

・ 共産主義に対抗するために、ヨーロッパやアジア経済の進展を消費者として支えてきた。このため、たとえば日本は冷戦時代の競争機動力、非効率的な製造業者、小売業者、輸出業者が相次いだ。しかしそこから脱却するために、日本はもっとも大きな...

■ アンケート結果 3人 CSVダウンロード

学生番号	氏名	記入日時
00800000	中本 浩二	2006/11/13 17:41
00800006	中本 浩二	2006/11/13 17:41
00800008	史村 健	2006/11/13 17:43
00800009	史村 健	2006/11/13 17:43
00800009	加藤 智也	2006/11/13 17:45
00800009	加藤 智也	2006/11/13 17:45



学生に小テストとして出題し、その回答を統計として二次利用することも可能です。

## その他利用できる機能

出席を確認するための時間帯とキーワードを指定することで、オンラインで出席を取ることができます。パソコンのある教室では出席をこの機能で確認することができます。

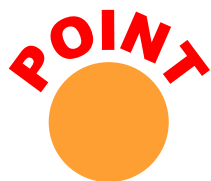


各学生の最終ログイン日時を確認することができます。CSVデータで保存することもできます。

授業（クラス）登録者のリストを確認できます。CSVデータで保存することもできます。

学生がパスワードを忘れた、または変更する必要がある場合、先生が新しいパスワードを設定してあげることができます。

学生側画面のクラスごとのページに、お知らせ事項を表示することができます。クラス内の伝達事項にも活用できます。

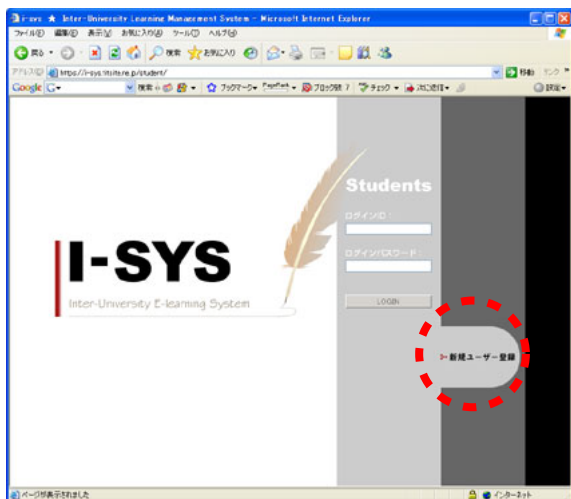


I-SYSはすべてインターネット上で処理されます。利用者のパソコンに特別なソフトをインストールする必要はありません。インターネット環境さえあれば、たとえばホテルでもネットカフェでも利用することができます。

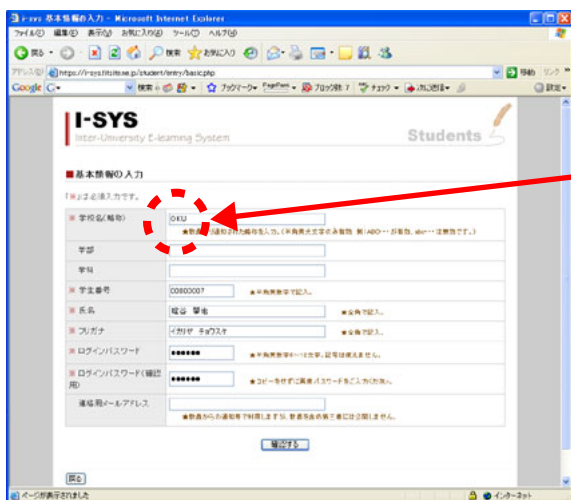


I-SYSのすべての通信は、SSL (Secure Sockets Layer) を利用しています。入力されたデータはすべて、ブラウザ上で暗号化処理された後、インターネットを經由して当社のセキュア・サーバーに転送されますので、転送の途中で第三者に盗聴される心配はありません。SSLは現在、インターネット上でもっとも信頼性が高い技術で、個人情報扱うサイトで標準的に使用されています。

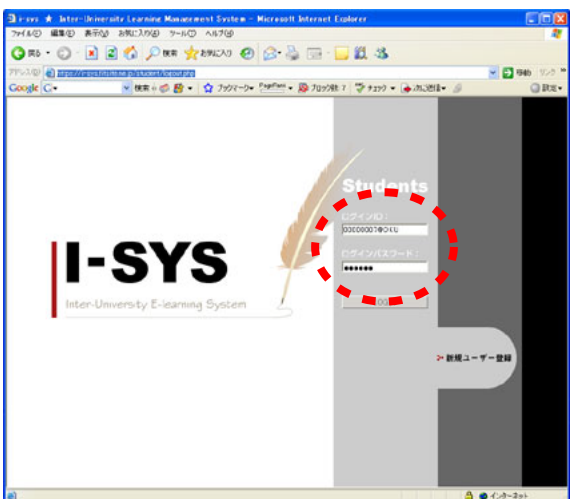
## 学生のユーザー登録とクラス登録について



パソコン内の任意のブラウザを起動し、<https://i-sys.fitsite.ne.jp/student/>にアクセスすると、左のようなログイン画面が表示されます。  
右下の『新規ユーザー登録』をクリックしてください。  
サービスの利用規約が表示されますので、内容をよく読み、『同意する』をクリックしてください。



基本情報を入力し、『確認する』ボタンを押します。  
※学校名は担当の先生から直接聞いてください  
確認画面が表示されたら、入力した内容に間違いがないか確認して、『登録する』ボタンを押します。  
完了画面が出たら、『ログイン画面へ戻る』リンクをクリックしてください。



ログインIDとパスワードを入力し、『LOGIN』ボタンを押してください。  
※ログインIDは『あなたの学籍番号@上で登録した学校名』です。  
ログインすると、あなたの個人ページが表示されます。



左メニュー上部の『クラスの新規登録』ボタンを押します。  
登録画面が表示されたら、クラスIDを入力し、『クラスに参加』ボタンを押します。  
※クラスIDは担任の先生から直接聞いてください  
確認表示されたクラスの情報が間違いなければ『送信』ボタンを押してください。  
完了すれば、メニューにクラスが追加されます。  
以上の手順を繰り返し、必要なクラスを随時登録してください。